# 世界銀行東京事務所Eニュース

世界銀行グループ | Working for a World Free of Poverty

【世界銀行東京事務所　Eニュース 677号 】2020年世界銀行グループ・リクルートミッション事前告知（2020年1月採用募集開始、3月中旬面接）、他

世界銀行東京事務所　Eニュース 第677号　2019年12月27日　発行

## 2020年世界銀行グループ・リクルートミッション事前告知（2020年1月採用募集開始、3月中旬面接）

世界銀行グループは、グループ機関の世界銀行、国際金融公社（IFC）及び多数国間投資保証機関（MIGA)による日本人を対象とした採用募集を2020年1月に開始し、3月中旬にリクルートミッションを派遣して、事前に行われる書類選考を通った候補者の面接を行います。各ポジションは2～4年の任期で、その後、勤務評価に基づき契約更新が可能です。各ポジションの詳細及び募集要項は、2020年1月から随時本ウェブページで公開いたします。是非ご覧ください。

詳細： http://wrld.bg/wK4t30pZuXg

---

## 世界銀行インターンシップ・プログラム募集中（締切：2020年1月31日）

---

世界銀行では、2020年夏季インターンの応募を受け付けています。修士 / 博士課程に在籍中の大学院生を対象とした有給プログラムで、即戦力としての分析能力およびコンピューター・スキルが求められます。英語力は必須、その他にフランス語、スペイン語、ロシア語、アラビア語、ポルトガル語、中国語の知識があると有利です。勤務地は主に世界銀行本部（ワシントンDC）、オンライン応募締切は1月31日です。

詳細・応募：http://wrld.bg/Vfd030q4RfF （英語）

---

## 特集：日本の専門家が都市管理および都市サービス提供に関する経験を共有

---

2019年12月16～20日、インドネシアで開催された「ジャカルタ都市トランスフォーメーションラボ」と呼ばれる都市課題を包括的に解決するための政策や知見を共有するイベントにおいて、日本の自治体と企業が都市開発に関する経験を共有しました。世界銀行東京開発ラーニングセンター（TDLC）は、広域での都市管理および都市サービス提供に関して、日本からの専門家派遣を通じてインドネシアを始めとする世界各国を今後も支援する予定です。

特集： http://wrld.bg/kSOn30q4Rg0

---

## セミナーのお知らせ

---

**ユニバーサル・ベーシックインカムを求めて：概念、エビデンス、実践に向けたガイド**
世界銀行モーニングセミナー（第55回）

日時：2020年1月7日（火）午前7時45分～午前8時45分
場所：世界銀行東京事務所 http://ow.ly/Ok6kd
内容：世界銀行が12月に発表した報告書「ユニバーサル・ベーシックインカムを求めて：概念、エビデンス、実践に向けたガイド」では、開発と社会的保護に関する政策に関する議論のなかで最も注目を集めている概念の一つである「ユニバーサル・ベーシックインカム」（UBI）について、詳細に検討しています。同報告書の共著者であるウーゴ・ジェンティリーニ世界銀行社会的保護・雇用グローバルプラクティス上級社会的保護専門官、マーガレット・グローシュ世界銀行社会的保護・雇用グローバルプラクティス上級アドバイザー、ルスラン・イェムツォフ世界銀行東アジア・大洋州地域人間開発担当プログラムリーダーがテレビ会議でワシントンおよび北京より主なポイントをご紹介し、皆様のご質問にお答えします。
詳細・お申込み： http://wrld.bg/vGNH30q4QKi

## 世界銀行で働く～三輪桂子・世界銀行教育グローバルプラクティス 中東・北アフリカ地域担当局長
## キャリアセミナー

日時：2020年1月7日（火）午後6時30分～午後8時
場所：世界銀行東京事務所 http://ow.ly/Ok6kd
内容：三輪桂子・世界銀行教育グローバルプラクティス中東・北アフリカ地域担当局長が、世界銀行の教育セクターの取り組み、自身の世界銀行入行前から現在に至るキャリアパスとこれまでどのような業務に従事してきたか、世界銀行で求められる人材像などについてお話し、皆様のご質問にお答えします。
詳細・お申込み： http://wrld.bg/fTit30q3xBN

## 質の高いインフラストラクチャー投資推進のための戦略：世界銀行の戦略への反映
## 世界銀行PHRDセミナー

日時：2020年1月9日（木）午前10時～午後12時
場所：世界銀行東京事務所 http://ow.ly/Ok6kd
内容：世界銀行の日本開発政策・人材育成基金（PHRD: Policy and Human Resources Development Fund）は、日本政府と世界銀行のパートナーシップの下に共同で設置された基金です。本セミナーでは、PHRDグラント供出による「質の高いインフラストラクチャー投資（QII）パートナーシップ基金」の概要とその取り組み状況、具体的な事例として、エクアドル・キトの「キトにおける交通指向型開発（TOD）のためのビジョンと実施戦略」グ

ラントをご紹介します。
詳細・お申込み： http://wrld.bg/l9ZQ30q3zcO

## レジリアンスを拡大する：日本の経験のパートナー各国および世界銀行の戦略へ反映
## 世界銀行PHRDセミナー

日時：2020年1月9日（木）午後1時30分～午後3時30分
場所：世界銀行東京事務所 http://ow.ly/Ok6kd
内容：PHRDグラント供出による「東京防災ハブ」が支援する様々な活動のうち、「インド・ダム復旧・改修プロジェクト：災害レジリアンス強化によるダムの安全な操業」プロジェクトをご紹介します。
詳細・お申込み： http://wrld.bg/9yr930q3zdg

## 知識とキャパシティ開発をレバレッジする：ユニバーサルヘルスカバレッジ（UHC）とパンデミック対策
## 世界銀行PHRDセミナー

日時：2020年1月9日（木）午後4時～午後6時15分
場所：世界銀行東京事務所 http://ow.ly/Ok6kd
内容：PHRDの「UHCウィンドウ」が支援する様々な活動のうち、「ベトナム：保健セクターにおける効率性およびバリューフォーマネー向上プロジェクト」および「ベトナム：パンデミック対策強化プロジェクト」をご紹介します。
詳細・お申込み： http://wrld.bg/UldV30q3zdQ

## 西アフリカ農業生産性向上プログラム
## 世界銀行PHRDセミナー

日時：2020年1月10日（金）午後6時～午後8時30分
場所：世界銀行東京事務所 http://ow.ly/Ok6kd
内容：世界銀行の日本開発政策・人材育成基金（PHRD: Policy and Human Resources Development Fund）が支援した「西アフリカ農業生産性向上プログラム」の概要を、実施機関であるCORAFがセネガルよりテレビ会議にてご紹介した後、ギニアより、世界銀行のギニア担当カントリーマネージャー、本プロジェクトの担当タスクチームリーダー、ギニアにおける本プロジェクトの実施機関と受益者よりそれぞれの視点から、本プロジェクトの成

果についてご紹介します。
詳細・お申込み： http://wrld.bg/7zL630q3zf1

---

# 主なニュース

---

## チャド：難民と受入れコミュニティの関与を通じた食糧安全保障

チャド南部のゴレに暮らす中央アフリカ共和国からの難民7万人と受入れコミュニティの食糧確保のため、園芸に関するトレーニングを実施し、46万人以上に種子を配布したところ、以前よりも割安な果物、野菜、マメが、収穫の少ない6月から9月を含め1年を通じて手に入るようになりました 。

特集：http://wrld.bg/c0ZC30q4QD0 （英語）

## ナイジェリア：景気拡大の加速と雇用機会の創出には生産性向上が鍵

ナイジェリア経済を分析した最新報告書によると、大幅な成長と雇用創出に加え、新たに3,000万人が極度の貧困に陥るのを防ぐためには生産性向上が不可欠です。同報告書はまた、政策の透明性向上と金融アクセス拡大も優先課題であり、貿易、教育、デジタル経済の分野の改革も重要になると指摘しています。

報告書： http://wrld.bg/FjYQ30q4QEk （英語）

## ガーナ：燻製用オーブンが女性の所得と健康を促進

地元のセメントやレンガで作った燻製用オーブンを使用することにより、有害物質を含んだ煙を40～70%、マングローブ等の木材の伐採を50～75%、それぞれ減らした上、質の高い魚の燻製を作ることができるようになりました。今後、取組みの拡大に当たっては、オーブンの配布、改良型オーブンを作る職人の養成、女性のマイクロ・ファイナンスへのアクセス確保が必要になります。

ブログ： http://wrld.bg/JMPz30q4QEB （英語）

## 中央アジア：域内協力の強化を通じて災害リスクの管理を向上

中央アジアは洪水、干ばつ、地震、雪崩、地滑り等の自然災害が起こりやすいため、強靭性強化が優先課題となっており、域内各国の協力の重要性も元首レベルの会合で確認されています。そこで世界銀行とパートナーが防災・減災のための専門委員会を立ち上げ、知識の交換と国内外の専門家による協力態勢構築を目指して取り組みを進めています。

特集： http://wrld.bg/7fxo30q4QJ4（英語）

リンクが表示できない場合、お手数ですがメール上のURLをコピーしブラウザのアドレスバーに貼り付けていただくか、メールでご連絡をいただければ幸いです。

---


世界銀行東京事務所
東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル14階
電話 03-3597-6650　FAX 03-3597-6695
世界銀行東京事務所フェイスブック
世界銀行東京事務所ツイッター
世界銀行東京事務所インスタグラム


---


このメールは送信専用のアドレスから配信されています。 WorldBank@newsletterext.worldbank.org にメールをいただいても内容の確認およびご返答ができません。お問合せは ptokyo@worldbank.org までお願いいたします。

※世界銀行のメール配信システムのリニューアルに伴い、送信者名・送信元メールアドレスがWorld Bank Tokyo <ptokyo@worldbank.org> から WBTokyo eNews <WorldBank@newsletterext.worldbank.org>に変わりました。

# 世界銀行東京事務所Eニュース

世界銀行グループ | Working for a World Free of Poverty

【世界銀行東京事務所　Eニュース 676号 】2020年世界銀行グループ・リクルートミッション事前告知（2020年1月採用募集開始、3月中旬面接）、他

世界銀行東京事務所　Eニュース 第676号　2019年12月20日　発行

## 2020年世界銀行グループ・リクルートミッション事前告知（2020年1月採用募集開始、3月中旬面接）

世界銀行グループは、グループ機関の世界銀行、国際金融公社（IFC）及び多数国間投資保証機関（MIGA)による日本人を対象とした採用募集を2020年1月に開始し、3月中旬にリクルートミッションを派遣して、事前に行われる書類選考を通った候補者の面接を行います。各ポジションは2～4年の任期で、その後、勤務評価に基づき契約更新が可能です。各ポジションの詳細及び募集要項は、2020年1月から随時本ウェブページで公開いたします。是非ご覧ください。

詳細： http://wrld.bg/wK4t30pZuXg

---

## 世界銀行グループとフィナンシャル・タイムズ、高校生を対象としたブログコンテストを開催

---

10歳までにすべての子どもたちが文字を読むことができるようにするために、学校や教師は何をすればいいでしょうか？あなたが自国の教育大臣だとしたら何をしますか？ご自身の考えを500単語以下の英文で綴ってください。受賞作品はフィナンシャル・タイムズ紙と世界銀行のブログで発表され、受賞者は2020年4月にワシントンDCで開催される世界銀行・IMF春季会合に参加することができます。皆さんの独創性、創造性にあふれたブログをお待ちしています。

応募締切：2020年2月11日午後1時59分（日本時間）
コンテストの詳細・応募： http://wrld.bg/Gs4x30q2zm9 （英語）

---

## 「世銀スタッフの横顔」インタビュー第54回：吉田信生 リードエコノミスト

---

人工知能や機械学習を利用した貧困測定プログラムを開発し、途上国の貧困の可視化を実現させた吉田信生 貧困・平等グローバルプラクティス リードエコノミストのインタビュー記事を掲載しました。世界銀行での仕事の醍醐味、将来世界銀行で働きたい方へのメッセージをお伝えします。

インタビュー： http://wrld.bg/SUJe30q3xCE

---

## セミナーのお知らせ

---

### 世界銀行で働く～三輪桂子・世界銀行教育グローバルプラクティス 中東・北アフリカ地域担当局長

## キャリアセミナー

日時：2020年1月7日（火）午後6時30分～午後8時
場所：世界銀行東京事務所 http://ow.ly/Ok6kd
内容：三輪桂子・世界銀行教育グローバルプラクティス中東・北アフリカ地域担当局長が、世界銀行の教育セクターの取り組み、自身の世界銀行入行前から現在に至るキャリアパスとこれまでどのような業務に従事してきたか、世界銀行で求められる人材像などについてお話し、皆様のご質問にお答えします。
詳細・お申込み： http://wrld.bg/fTit30q3xBN

## 質の高いインフラストラクチャー投資推進のための戦略：世界銀行の戦略への反映
## 世界銀行PHRDセミナー

日時：2020年1月9日（木）午前10時～午後12時
場所：世界銀行東京事務所 http://ow.ly/Ok6kd
内容：世界銀行の日本開発政策・人材育成基金（PHRD: Policy and Human Resources Development Fund）は、日本政府と世界銀行のパートナーシップの下に共同で設置された基金です。本セミナーでは、PHRDグラント供出による「質の高いインフラストラクチャー投資（QII）パートナーシップ基金」の概要とその取り組み状況、具体的な事例として、エクアドル・クイントの「クイントにおける交通指向型開発（TOD）のためのビジョンと実施戦略」グラントをご紹介します。
詳細・お申込み： http://wrld.bg/l9ZQ30q3zcO

## レジリアンスを拡大する：日本の経験のパートナー各国および世界銀行の戦略へ反映
## 世界銀行PHRDセミナー

日時：2020年1月9日（木）午後1時30分～午後3時30分
場所：世界銀行東京事務所 http://ow.ly/Ok6kd
内容：PHRDグラント供出による「東京防災ハブ」が支援する様々な活動のうち、「インド・ダム復旧・改修プロジェクト：災害レジリアンス強化によるダムの安全な操業」プロジェクトをご紹介します。
詳細・お申込み： http://wrld.bg/9yr930q3zdg

### 知識とキャパシティ開発をレバレッジする：ユニバーサルヘルスカバレッジ（UHC）とパンデミック対策
### 世界銀行PHRDセミナー

日時：2020年1月9日（木）午後4時～午後6時15分
場所：世界銀行東京事務所 http://ow.ly/Ok6kd
内容：PHRDの「UHCウィンドウ」が支援する様々な活動のうち、「ベトナム：保健セクターにおける効率性およびバリューフォーマネー向上プロジェクト」および「ベトナム：パンデミック対策強化プロジェクト」をご紹介します。
詳細・お申込み： http://wrld.bg/UldV30q3zdQ

### アフリカ農業生産性向上プログラム
### 世界銀行PHRDセミナー

日時：2020年1月10日（金）午後6時～午後8時30分
場所：世界銀行東京事務所 http://ow.ly/Ok6kd
内容：世界銀行の日本開発政策・人材育成基金（PHRD: Policy and Human Resources Development Fund）が支援した「アフリカ農業生産性向上プログラム」の概要を、実施機関であるCORAFがセネガルよりテレビ会議にてご紹介した後、ギニアより、世界銀行のギニア担当カントリーマネージャー、本プロジェクトの担当タスクチームリーダー、ギニアにおける本プロジェクトの実施機関と受益者よりそれぞれの視点から、本プロジェクトの成果についてご紹介します。
詳細・お申込み： http://wrld.bg/7zL630q3zf1

---

## 主なニュース

---

### 世界農業食糧安全保障プログラム（GAFSP）：飢餓・貧困対策に新規グラント

総額9,760万ドルに上る同グラントは、脆弱で紛争の影響下にある10カ国が対象で、農業生産向上、所得拡大、食糧・栄養の安全保障強化に充てられます。2010年に設立されたGAFSPは、2030年を期限とする持続可能な開発目標（SDGs）の中でも特に飢餓、食糧、栄養、農業の各分野に取り組む目標2の達成を目指しています。

プレスリリース：http://wrld.bg/AqCX30q2zer （英語）

## ネパール：開発課題に取り組む初の試みとしてSolve-a-thon（ソルバソン）2019を開催

世界銀行とアジア財団が英国国際開発省の支援の下、12月14～15日にカトマンズ大学経営大学院にてSolve-a-thon（ソルバソン）を開催しました。様々な分野の専門家がチームに分かれ、大気汚染や女性の金融アクセス等について最新テクノロジーを駆使したソリューションを競い、データ・アクセスと適切なメンターが開発課題解決にいかに重要かが示されました。

プレスリリース： http://wrld.bg/Cw0T30q3vJP （英語）

## 世界の最貧国：貧困率、子供の死亡率等7つの指標で見る過去20年の歩み

世界銀行の最貧国向け基金である国際開発協会（IDA）は、貧困削減に向け、経済成長と人々の生活水準向上のためのプログラムを支援し、大きな成果を上げてきました。過去20年間、極度の貧困率は50％以上から約30％に、子供の死亡率は約14％から7％にそれぞれ低下、電力アクセスは57％向上、飲料水・衛生の基本的サービスへのアクセスは22％から41％に増加するなど、最貧国で目覚ましい進歩が見られました。

ブログ： http://wrld.bg/5WvS30q2zeO （英語）

## 年末年始に読むならこの一冊

昨年好評だったHoliday Readingに続き、今年も、世界銀行のチーフ・エコノミストが、組織・制度が長期的開発に与える影響（ベトナム）、教育（インド）、国内移住が生産性に与える影響（インドネシア）、農村電化（ケニア）、観光と経済開発（メキシコ湾岸部）、食糧配給の民間委託（インドネシア）等、お勧めの本を挙げています。

ブログ： http://wrld.bg/Kgaf30q3vJR （英語）

リンクが表示できない場合、お手数ですがメール上のURLをコピーしブラウザのアドレスバーに貼り付けていただくか、メールでご連絡をいただければ幸いです。

世界銀行東京事務所
東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル14階
電話 03-3597-6650　FAX 03-3597-6695
世界銀行東京事務所フェイスブック
世界銀行東京事務所ツイッター
世界銀行東京事務所インスタグラム

---

このメールは送信専用のアドレスから配信されています。 WorldBank@newsletterext.worldbank.org にメールをいただいても内容の確認およびご返答ができません。お問合せは ptokyo@worldbank.org までお願いいたします。

※世界銀行のメール配信システムのリニューアルに伴い、送信者名・送信元メールアドレスがWorld Bank Tokyo <ptokyo@worldbank.org> から WBTokyo eNews <WorldBank@newsletterext.worldbank.org>に変わりました。

# 世界銀行東京事務所Eニュース

世界銀行グループ | Working for a World Free of Poverty

**【世界銀行東京事務所　Eニュース 675号 】国際開発協会（IDA）第19次増資合意：2020年から2023年の3年間の支援に820億ドルの拠出を誓約、他**

世界銀行東京事務所　Eニュース 第675号　2019年12月16日　発行

## 国際開発協会（IDA）第19次増資合意：2020年から2023年の3年間の支援に820億ドルの拠出を誓約

12月13日、世界銀行の開発パートナーである各国政府は、極度の貧困撲滅に向けた取組みの勢いを持続するため、世界銀行の最貧国向け基金である国際開発協会（IDA）に対し新たに820億ドル（内、約530億ドル超はアフリカ向け）を拠出することを発表しました。今回の拠出で、IDAが重点を置く政策のうち、質の高いインフラ、国際保健（ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）、パンデミック）、債務持続可能性、自然災害に対する強靱性強化といった開発分野は、いずれも日本がリーダーシップを発揮しています。

プレスリリース：http://wrld.bg/csuC30q2bW8

## 防災：ラテンアメリカ・カリブ海地域における地方行政能力アセスメント（MICA）ツールキットの展開

持続可能な開発を目指すうえで、地方自治体が質の高いサービスを市民に提供できるよう支援ツールを提供することが重要になっています。世界銀行では、ラテンアメリカ・カリブ海地域諸国と協力して、地方行政能力アセスメント（MICA）ツールキットの試行・展開に取り組んでいます。エルサルバドルでは、このツールの利用により、災害リスク管理、自治体財政、自治体投資などの分野で自治体の行政能力を正確に測定することが可能になりました。

特集： http://wrld.bg/LbTV30q2bWL

## 2020年世界銀行グループ・リクルートミッション事前告知（2020年1月採用募集開始、3月中旬面接）

世界銀行グループは、グループ機関の世界銀行、国際金融公社（IFC）及び多数国間投資保証機関（MIGA)による日本人を対象とした採用募集を2020年1月に開始し、3月中旬にリクルートミッションを派遣して、事前に行われる書類選考を通った候補者の面接を行います。各ポジションは2～4年の任期で、その後、勤務評価に基づき契約更新が可能です。各ポジションの詳細及び募集要項は、2020年1月から随時本ウェブページで公開いたします。是非ご覧ください。

詳細： http://wrld.bg/wK4t30pZuXg

## 世界銀行東京開発ラーニングセンター（TDLC）短期コンサルタント（広報）募集

世界銀行東京開発ラーニングセンター（TDLC）では、広報戦略の立案、各種広報資料の作成・編集、イベントのマーケティング・運営などに携わる短期コンサルタントを募集しています。主な応募条件は、コミュニケーション、ジャーナリズム、マーケティングまたは他の関連分野で学士号以上の学歴と関連業務の経験が2年以上あり、英語と日本語が堪能であることなどです。採用者が決まり次第締め切ります。下記リンク先のTORをご覧の上、お早目にご応募ください。

勤務形態：Short-Term Consultant/パートタイム
最大雇用期間：応相談
勤務時間：週数日程度の勤務で、最長年間150日まで（応相談）
勤務開始日：即日可
勤務地：東京
詳細・応募： http://wrld.bg/x4i730q0RRy

---

# セミナーのお知らせ

---

## 国際金融公社（IFC）で働く～玉木 圭 インベストメント・オフィサー

## キャリアセミナー

日時：2019年12月18日（水）午後6時30分～午後8時
場所：米州開発銀行 アジア事務所
内容：世界銀行グループでは、日本人の採用を積極的に行っており、海外で活躍する日本人職員が来日する際に、皆様に世界の開発課題や世界銀行グループの活動を紹介するセミナーを実施しています。
今回のセミナーでは、2018年のリクルートミッションで採用されたインベストメント・オフィサーの玉木圭より、IFCの活動や自身の経歴、投資部門での業務をご紹介します。
詳細・お申込み： http://wrld.bg/woR630pTj4Q

---

# 主なニュース

---

## サモア：世界銀行がはしか大流行への対策を支援

世界銀行は、サモアのはしか緊急対策に350万ドルを、さらに2020～25年に保健システム強化に930万ドルを提供します。今回のはしか流行では、子供を中心にすでに70人が犠牲となっており、保健人材への投資や地域社会での病気の予防など、保健システムの質と効率性の向上が迫られています。

プレスリリース：http://wrld.bg/MMUQ30q0S3f （英語）

## シントマールテン：空港再建に向け世界銀行と7,200万ドルのグラント契約に合意

世界銀行とシントマールテン政府は12月9日、ハリケーンで被災したプリンセス・ジュリアナ国際空港のターミナル再建に向けたグラント契約に調印しました。域内輸送の重要な拠点である同空港のターミナルを再建しハリケーン前の年間乗降客数250万人の状態に戻すと共に、今後の極端な異常気象に備え強靭性を構築していきます。

プレスリリース： http://wrld.bg/X3Bh30q0S47 （英語）

## アフリカ疾病予防管理センター：感染症監視・対応システムを強化

世界銀行グループは12月10日、エチオピア、ザンビア、アフリカ連合による感染症対策と公衆衛生上の優先課題を支援するため、国際開発協会（IDA）の融資とグラントで総額2億5,000万ドルの提供を承認しました。これにより、アフリカ疾病予防管理センターとアフリカ各国の公衆衛生機関の協力が強化され、感染症に関するデータの共有が図られます。

プレスリリース： http://wrld.bg/C78d30q1uON （英語）

## インド：灌漑サービス充実と洪水緩和に世界銀行が1億4,500万ドル

西ベンガルのダモダル川流域では毎年平均3万3,500ヘクタールの農地と46万人以上の農夫が洪水被害に見舞われています。そこで西ベンガル干ばつ・治水プロジェクトの下、39万3,964ヘクタールで約270万人の農民を対象に、堤防の強化や沈泥の除去等インフラ整備が進められ、気候変動の影響緩和と、価値の高い作物の生産に道が開かれます。

プレスリリース： http://wrld.bg/MJNd30q1uSO （英語）

リンクが表示できない場合、お手数ですがメール上のURLをコピーしブラウザのアドレスバーに貼り付けて

いただくか、メールでご連絡をいただければ幸いです。

---

世界銀行東京事務所
東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル14階
電話 03-3597-6650　FAX 03-3597-6695
世界銀行東京事務所フェイスブック
世界銀行東京事務所ツイッター
世界銀行東京事務所インスタグラム


---


このメールは送信専用のアドレスから配信されています。 WorldBank@newsletterext.worldbank.org にメールをいただいても内容の確認およびご返答ができません。お問合せは ptokyo@worldbank.org までお願いいたします。

※世界銀行のメール配信システムのリニューアルに伴い、送信者名・送信元メールアドレスがWorld Bank Tokyo <ptokyo@worldbank.org> から WBTokyo eNews <WorldBank@newsletterext.worldbank.org>に変わりました。

# 世界銀行東京事務所Eニュース

世界銀行グループ | Working for a World Free of Poverty

**【世界銀行東京事務所　Eニュース 674号 】日本の投資家からの強い需要に支えられて発行総額が20億ドルに ー 食品ロス・廃棄問題に対する意識を喚起するサステナブル・ディベロップメント・ボンド ー、他**

世界銀行東京事務所　Eニュース 第674号　2019年12月6日　発行

---

## 日本の投資家からの強い需要に支えられて発行総額が20億ドルに ー 食品ロス・廃棄問題に対する意識を喚起するサステナブル・ディベロップメント・ボンド ー

---

世界銀行が2019年3月に初めての食品ロス・廃棄問題に対する意識の喚起を目的としたサステナブル・ディベロップメント・ボンドを発行して以来、特に日本の投資家からの強い需要に支えられ、発行総額が20億ドル相当（約2,180億円）に達しました。世界銀行の債券は、加盟国の持続可能な開発 プロジェクトやプログラムを支えています。食品ロス・廃棄の削

減は飢餓の撲滅、持続可能な食料生産や食事、消費の支援、気候変動への対処など、幅広い分野に良い影響を与えます。世界銀行は、投資家と戦略的パートナーシップを構築し、 持続可能な開発における民間投資の重要性を広く発信していくことを、資本市場とのエンゲージメントにおける重要な優先事項としています。

プレスリリース：http://wrld.bg/Xp9Y30pZslT

---

## 第一生命がサステナブル・ディベロップメント・ボンドに投資 ― 海洋プラスチックごみ問題解決に向けた取り組み ―

---

世界銀行（国際復興開発銀行、ムーディーズ：Aaa、スタンダード＆プアーズ:AAA）はこの度、期間5年、総額6,600万カナダドルのサステイナブル・ディベロップメント・ボンド（開発途上国の持続可能な発展を支える世銀債）を発行しました。本債券は、世界の水や海洋プラスチックごみなどの海洋汚染問題への取り組みの重要性に対する人々の意識を高めることを目的として発行され、本債券の全額を第一生命保険株式会社が購入しました。単独主幹事には、米モルガン・スタンレーが指名されました。世界銀行の債券は、加盟国の海洋プラスチックごみ等による海洋汚染問題の解決に向けたプロジェクトを含む、幅広い分野における持続可能な開発プロジェクトやプログラムを支えています。

プレスリリース： http://wrld.bg/OvPv30pZtMO

---

## 国際障害者デー（12月3日）： シャーロット・マクレイン=ンハラポ 世界銀行グローバル障害アドバイザー インタビュー 「開発協力の“DNA”に 世銀はロードマップを策定」

---

国際開発ジャーナル2019年12月号にシャーロット・マクレイン=ンハラポ世界銀行 グローバル障害アドバイザーのインタビュー記事「開発協力の“DNA”に」が掲載されました。世界銀行は国際機関の中でいち早く「障害と開発」分野に取り組んできており、2018年に組織全体で取り組みを強化するためのロードマップを策定しました。現在この動きを主導している担当者が、これからの開発協力における「障害と開発」分野の位置付けと今後の展望を語っています。ぜひご覧ください。

インタビュー記事： http://wrld.bg/iz3530pZsnu

---

## 採用・奨学金ページ刷新

---

世界銀行の「採用・奨学金」ページが刷新されました。日本人を対象とした採用募集「世界銀行グループ・リクルートミッション」（来年1月募集開始予定）をはじめとした採用プログラム、応募に向けた準備、採用に関するイベント、来年3月から応募が始まる「日本 / 世界銀行 共同大学院奨学金制度（JJ/WBGSP） 日本人向け特別枠」についての最新情報を日本語でご覧いただけます。

採用・奨学金： http://wrld.bg/87rt30pZvUm

---

## 2020年世界銀行グループ・リクルートミッション（事前告知）

---

世界銀行グループは、グループ機関の世界銀行、国際金融公社（IFC）及び多数国間投資保証機関（MIGA)による日本人を対象とした採用募集を2020年1月に開始し、3月中旬にリクルートミッションを派遣して、事前に行われる書類選考を通った候補者の面接を行います。各ポジションは2～4年の任期で、その後、勤務評価に基づき契約更新が可能です。各ポジションの詳細及び募集要項は、2020年1月から随時本ウェブページで公開いたします。是非ご覧ください。

詳細： http://wrld.bg/wK4t30pZuXg

---

## セミナーのお知らせ

---

### 繁栄の実現：農業におけるテクノロジーと生産性向上セミナー

日時：2019年12月9日（月）午後3時～4時30分

場所：世界銀行東京事務所 http://ow.ly/Ok6kd
内容：世界銀行は生産性に関する研究プロジェクトを進めており、全4巻の報告書を刊行しています。2019年9月に第4弾の報告書「繁栄の実現：農業におけるテクノロジーと生産性向上」を発表し、途上国が貧困を撲滅し、高まる食糧需要に対応して気候変動の悪影響に対処するためには、農業分野のイノベーションと農民によるテクノロジー活用を飛躍的に拡大する必要があると指摘しています。同報告書の筆頭著者であるウィリアム・マロニー世界銀行公正な成長・金融・制度（EFI）担当チーフエコノミストの来日の機会を捉え、同報告書の主なポイントをご紹介するセミナーを開催します。
詳細・お申込み：http://wrld.bg/xtts30pXtBX

## アフリカにおける仕事の未来：万人のためのデジタル技術の可能性を引き出す
## 世界銀行グループTICADセミナーシリーズ第27回

日時：2019年12月10日（火）午前7時45分～午前8時45分
場所：世界銀行東京事務所 http://ow.ly/Ok6kd
内容：世界銀行が7月に発表した報告書「アフリカにおける仕事の未来：万人のためのデジタル技術の可能性を引き出す」では、仕事をめぐる環境を根本的に変化させうる技術進化や破壊的な革新に途上国が直面しつつあるなかで、サブサハラ地域は他の地域以上にデジタル技術の適応がもたらす恩恵を享受することができると述べています。本セミナーでは、テレビ会議で同報告書の執筆担当者が主なポイントをワシントンよりご説明し、皆様のご質問にお答えします。
詳細・お申込み：http://wrld.bg/qMZN30pTj3n

## 国連開発計画（UNDP）と世界銀行のパートナーシップ：内戦下のイエメンでの協力
## 世界銀行ランチタイムブリーフィング（第6回）

日時：2019年12月13日（金）午後12時15分～午後1時15分
場所：世界銀行東京事務所 http://ow.ly/Ok6kd
内容：イエメンは中東・北アフリカ地域の最貧国であり、2015年初頭から続く紛争の壊滅的な影響により、世界で最も厳しい人道危機に苦しんでいます。こうした厳しい状況のなかで、国連開発計画（UNDP）と世界銀行はどのように連携し成果をあげてきたのか、アウケ・ルツマ・国連開発計画（UNDP）イエメン常駐代表と福岡史子・UNDPアラブ局シニアパートナーシップアドバイザーにお話しいただきます。また、松永秀樹・世界銀行中東・北アフリカ地域担当チーフエコノミスト室アドバイザーがワシントンよりテレビ会議でコメン

テイターとして登壇します。
詳細・お申込み：http://wrld.bg/a0dn30pZtU0

### 国際金融公社（IFC）で働く～玉木 圭 インベストメント・オフィサー キャリアセミナー

日時：2019年12月18日（水）午後6時30分～午後8時
場所：米州開発銀行 アジア事務所
内容：世界銀行グループでは、日本人の採用を積極的に行っており、海外で活躍する日本人職員が来日する際に、皆様に世界の開発課題や世界銀行グループの活動を紹介するセミナーを実施しています。
今回のセミナーでは、2018年のリクルートミッションで採用されたインベストメント・オフィサーの玉木圭より、IFCの活動や自身の経歴、投資部門での業務をご紹介します
。
詳細・お申込み： http://wrld.bg/woR630pTj4Q

---

## 主なニュース

---

### 学習効果の上がらない子供たち－眼鏡で状況が変わることも

世界銀行とEYEllianceは「国際障害者デー」の12月3日、視力が低いために成績が伸びない子供たちには、将来の経済的成功を含め深刻な悪影響が否定できないとする報告書を発表しました。学校を通じて視力検査を実施し眼鏡を配布することが、多くの場合、シンプルでコストのかからない解決手段になるとしています。

プレスリリース：http://wrld.bg/nM5030pZcGt （英語）

### コモロ連合：世界銀行グループが開発プログラムへの1億7,500万ドルの追加支援を約束

追加支援は世界銀行グループの3機関によるもので、最貧国を支援する国際開発協会（IDA）は栄養・社会的保護プログラムによる人的資本強化を、民間セクターを支援する国際金融公社（IFC）は投資環境の改善に向け投融資と助言サービスを、多数国間投資保証機関（MIGA）は、通信、エネルギー、運輸等における非商業的リスクへの投資保証を行いま

す。

プレスリリース： http://wrld.bg/CFB830pZcHd （英語）

## ケニア：データ収集力の向上に向けて

急成長する経済と、行政・司法面の改革が進み、ケニアは東アフリカにおける物流ゲートウェイになりつつあります。近代システムを活用して信頼性の高い統計を出せるようになることが求められているため、2007年以降、世界銀行の支援の下で国家統計局が再編され、データの信頼性が高まってきています。

成果： http://wrld.bg/9qzz30pZuYb （英語）

## アフリカ：小型太陽光発電が農業と経済にもたらす機会

サブサハラ・アフリカでは農地の約65%で手動での農作業が行われているため、農業生産高が世界でも低レベルにとどまっており、大人の4人に1人以上が食糧不足に悩まされています。しかし最近では、自作農用に小型でしかも太陽光発電で動かせる機器が登場し、農家の生活水準向上と所得拡大の機会が見込まれています。

特集： http://wrld.bg/sqBF30pZuYg （英語）

リンクが表示できない場合、お手数ですがメール上のURLをコピーしブラウザのアドレスバーに貼り付けていただくか、メールでご連絡をいただければ幸いです。

---

世界銀行東京事務所
東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル14階
電話 03-3597-6650　FAX 03-3597-6695
世界銀行東京事務所フェイスブック
世界銀行東京事務所ツイッター
世界銀行東京事務所インスタグラム

---